



平成 19 年 4 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社アムスライフサイエンス
代表者名 代表取締役社長 浅山雄彦
(コード番号: 2927)
問い合わせ先 取締役社長室長 白鳥弘之
電 話 054-281-5238

平成 19 年 8 月期 通期 (連結・個別) 業績予想の修正について

平成 19 年 8 月期 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 8 月 31 日) の通期の業績予想につきまして、最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 10 月 20 日付の「決算短信 (連結)」及び「個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 8 月期業績予想数値の修正 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 8 月 31 日)

【連結】

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回の連結業績予想 (A)	6,000	500	300
今回の修正 (B)	6,700	650	350
増 減 額 (B - A)	700	150	50
増 減 率	11.7%	30.0%	16.7%
(ご参考)			
前 期 実 績	5,459	483	287

【個別】

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回の個別業績予想 (A)	4,100	500	300
今回の修正 (B)	4,400	630	360
増 減 額 (B - A)	300	130	60
増 減 率	7.3%	26.0%	20.0%
(ご参考)			
前 期 実 績	4,195	574	344

2.業績予想修正の理由

(連 結)

売上高

当社が営むOEM(相手先ブランドによる製造)部門においては、柔軟な生産対応や高度な品質管理体制がOEM先に支持され、中間実績が当初計画を上回り推移しました。

また、平成19年2月16日の公表以後、準備を進めております本草製薬(株)からの事業譲受けは、平成19年6月1日に実施する見込であります。したがって、今回発表の通期予想売上高には、最近の動向から判断した3ヶ月間の事業譲受けによる売上高を加えております。

以上により、連結売上高は6,700百万円(前回予想比11.7%増)となる見込であります。

経常利益

中間期実績が、売上増加に伴う売上総利益の増加や、保有投資有価証券の運用益の計上により、当初計画を上回り推移しました。この中間期の影響を反映し、今回発表の通期予想経常利益は650百万円(前回予想比30.0%増)を見込んでおります。なお、事業譲受け後のAMS本草製薬(株)につきましては、人件費や賃借料等を中心に経費の圧縮を計画しておりますが、一部の仕入先の離反などの影響もあり、当期の利益は0と見込んでおります。

当期純利益

経常利益の修正を受け、当期純利益は350百万円(前回予想比16.7%増)を見込んでおります。

(個 別)

売上高

連結の理由で記載した通り、当社が営むOEM部門の中間期実績が計画を上回って推移したことや、販売方法の見直しにより関係会社向けの売上高について増加が見込まれることから、今回発表の通期予想売上高は4,400百万円(前回予想比7.3%増)を見込んでおります。

経常利益

連結の理由で記載した通り、中間期実績が売上増加に伴う売上総利益の増加や、保有投資有価証券の運用益の計上により、当初計画を上回り推移した影響を反映し、今回発表の通期予想経常利益は630百万円(前回予想比26.0%増)を見込んでおります。

当期純利益

経常利益の修正を受け、当期純利益は360百万円(前回予想比20.0%増)を見込んでおります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上